

平山素子

ダンス・ワークショップ

- からだで語り、思考する -

当たり前のように動かしているからだ・・・

歩いている時、誰かと話すとき、ふと何かを思った時・・・

からだはあなたの気持ちを、知らず知らずのうちに映し出しています。

そんなあなたの想いをダンスという形で表してみませんか？

コンテンポラリーダンサー、振付家、大学教員の3方面で、国際的に活躍されている平山素子氏によるダンス・ワークショップでは、あなたのからだに対する気づきや表現力にヒントをあたえてくれることでしょう。

このワークショップでは、他のダンスワークショップとは類を見ない、実技&ディスカッション形式で行われます。

コミュニケーション、ダンス、演劇に興味のある未経験者、初心者の方もお気軽にご参加ください。

H25 **8/11** (日) 10:00~15:00

①10:00~13:00 (実技)

②13:45~15:00 (ディスカッション)

於：大阪大学 豊中キャンパス

大阪大学会館 2F アセンブリーホール

(阪急宝塚線 石橋駅下車 徒歩15分 または 大阪モノレール 柴原駅下車 徒歩15分)

<https://55099zzwd.coop.osaka-u.ac.jp/daigaku-hall/files/access.html>

参加費：無料

定員：50名 (定員になり次第締め切ります)



講師紹介



平山素子氏

(筑波大学 体育学系 准教授)

愛知県出身。幼少よりバレエを始め、筑波大学にて舞踊を専攻、大学院を修了。

静謐さと昂揚を自在に奏でるダンサーとして観客の熱い支持を集め、近年は振付家としての評価も高い。

2006年ポリショイ劇場バレエ団にて『Revelation』をS・ザハロフに提供、新国立劇場公演07年『LifeCasting 型取られる生命ー』で朝日舞台芸術賞、08年『春の祭典』で芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞を受賞。11年ルーマニアに招碑され、R. マジールと『REQUIEM』を発表。

ソロ活動としても国内外のアートフェスティバルで作品を発表すると共に、無重力空間でのダンス実験にも参加するなど、洗練されつつ開拓心を失わないアーティストとして日本のダンスシーンをリードする存在である。

02年より筑波大学の教員となり、舞踊を学術的側面からも紹介し、後進の育成に尽力している。また、シンクロナイズドスイミングやフィギュアスケートの日本代表選手の指導にも携わるなど、活動は多岐にわたる。12年フジテレビ「オデッサの階段」に出演。

場所

大阪大学
豊中キャンパス

大阪大学会館 2F
アセンブリーホール



交通アクセス

(阪急宝塚線 石橋駅下車 徒歩15分 または 大阪モノレール 柴原駅下車 徒歩15分)

<https://55099zzwd.coop.osaka-u.ac.jp/daigaku-hall/files/access.html>

お問合せ・申込み

kojima@celas.osaka-u.ac.jp (小島)

上記アドレス宛に、以下の事項を明記の上お申し込みください

- ①氏名 (ふりがな)、 ②連絡先 (電話・メール)、 ③勤務先または所属、
- ④ダンス経験の有無 (ある場合は、ジャンルと年数)